



香港特別行政区政府金融財務省

香港 — グリーン&サステナブル・ ファイナンスのハブ ～リターンと意義を両立する投資～

金融財務長官 許正宇(クリストファー・ホイ)



政策目標と市場概況

政策目標とグリーン・トランスフォーメーション

- ❖ 中国本土: 2030年までにCO2排出量ピークアウト、2060年までにカーボンニュートラル実現
- ❖ 香港: 2050年までにカーボンニュートラル達成(2020年施政方針演説)
- ❖ 金融は実体経済に資するとともに、経済・社会発展の文脈でグリーン・トランスフォーメーションを推進すべき
- ❖ 広東・香港・マカオ大湾区(GBA)発展と「一帯一路」構想がもたらすグリーン金融の膨大なチャンス

市場概況

- ❖ 2020年、120億米ドルのグリーン債務(債券・貸付含む)を香港で手配・発行。2020年末までに発行されたグリーン債務の累積総額は380億米ドル超
- ❖ 2020年のグリーンボンド発行体の3分の1は香港で初の発行
- ❖ 商品種類の多様化: 持続可能性ボンド、ソーシャルボンド、トランジションボンド、グリーンローン、持続可能性連動ローン
- ❖ 108のグリーン/ESG関連ボンドが香港証券取引所に上場、総額は3,500億香港ドル超
- ❖ 60を超えるESGファンドを香港証券先物取引委員会が認可



政府グリーンボンドプログラムと助成計画

政府グリーンボンド プログラム

- ❖ 2回の発行で35億米ドルを調達
- ❖ 直近の発行(25億米ドル)における成果：
 - 1) 政府による米ドル建てグリーンボンド発行額として世界最大
 - 2) 30年トランシェは政府発行の米ドル建てグリーンボンドとしてアジア最長
 - 3) 初の政府によるグリーンボンドに特化した「グローバル中期債プログラム」
- ❖ 市況次第で今後5年間に総額1,755億香港ドル分のグリーンボンドを発行
 - 1) 通貨種類の追加(人民元建てなど)
 - 2) 個人投資家向け売り出し

グリーンで持続可能な 金融助成計画

- ❖ 条件を満たす債券発行体と借入体に補助金を提供し、起債や外部機関によるレビューにかかる費用を補填
- ❖ より多くの金融・専門サービス事業者と外部レビュー機関を誘致し、地域拠点としての香港の活用を促進



タクソノミーと組織横断ステアリンググループ

タクソノミー

- ❖ 2019年10月に多国間フォーラムとして発足した「サステナブル・ファイナンスに関する国際的な連携・協調を図るプラットフォーム(IPSF)」の下、専門調査を実施中(中国とEUが共同で推進)
- ❖ 香港はIPSFが開発している「共通タクソノミー」の導入を目指しており、香港で金融部門全般にわたり適用可能な分野を検討中

組織横断 ステアリンググループ

- ❖ 気候関連情報開示とサステナビリティ報告: IFRS財団の下に設置される国際サステナビリティ基準審議会による新基準の策定を支援
- ❖ 炭素市場のチャンス
- ❖ グリーンで持続可能な金融のためのセンター: 能力開発とデータ保管庫



2021年施政方針演説

- ① 香港をアジアの炭素取引センターへと発展させる実現可能性を評価
- ② 香港取引所は炭素排出量取引に関連する金融商品の開発で広州先物取引所と協力
- ③ 香港政府はカーボンニュートラルに大きく貢献する公共事業計画に好意的配慮





香港特別行政區政府金融財務省

Thank you